

# 富山大学フォーミュラプロジェクト

*Toyama University Formula project*

**2025年度研究報告  
および  
2026年度活動計画**





# 3カ年計画

2023年

1年目  
EVに関する  
知識の向上

ICVと並行して進める  
EVについての知識を蓄え、  
EV転向に必要な設備、  
パーツをそろえる

2024年

2年目  
動くEVの完成

EV車両として初エントリー  
タイムを犠牲にして  
まずは「全種目完走」  
を目指した。  
土台となるマシン

2025年

3年目  
速いEVの完成

2024年度マシンを基に  
歴代最速マシンを目指す  
ICV時代に追いつく  
今後の速度追求の礎



# 大会結果

	順位	合計	コスト	プレゼン	デザイン	アクセラレーション	スキッドパッド	オートクロス	エンデュランス+燃費
第22回	20	249	22.95	48.62	61	7.191s	5.429s	77.188s	DNF
目標点		529	36	55	80	4.3s	5.2s	69s	2000s
第23回	5	541.49	95	61.81	91	4.862s	DNF	76.774s	1908s
差	15	+292	+72.05	+13.19	+30	-2.329s		-0.414s	

- ほぼすべての種目で点数を上げることができた
- 静的審査ではコスト**1位**，プレゼン**3位**，デザイン**5位**という高順位を取ることができ，EVで全体**2位**を取ることができた
- チーム最高順位である5位を取ることができた
- スキッドパッドでは出走することができず，全種目完走することはできなかった



# 2025年度プロジェクトの振り返り

## Good

- 設計期, 製作期は予定通り進めることができた
- チームとして, プロジェクトを進めることができた
- マシンのデータ収集が可能になった

## Bad

- 試走期から電装トラブルが続き, 走行距離によるマシンの信頼性を持った状態で大会に挑めなかった
- 昨年度できていた全種目出走ができなかった



# 3カ年計画

2026年

1年目  
EVクラス  
4位

大会1か月前倒しのタイト  
なスケジュールの中で  
静的審査の点数を維持し、  
新しいホイールや  
機械式LSDの導入による  
動的性能の向上を目指す

2027年

2年目  
EVクラス  
3位

新型バッテリー採用による  
軽量化を目指し、  
今まで困難であった  
大幅な加速性能の  
向上を図る

2028年

3年目  
EVクラス  
1位

静的審査1位、  
動的審査1位を獲得し、  
総合優勝を目指す



# 大会目標

TF-010eの目標

**「EVクラス4位」**



# TF-010eについて

マシンコンセプト：「**旋回性能と加速性能の向上**」

## マシン諸元

型式番号 TF-10e

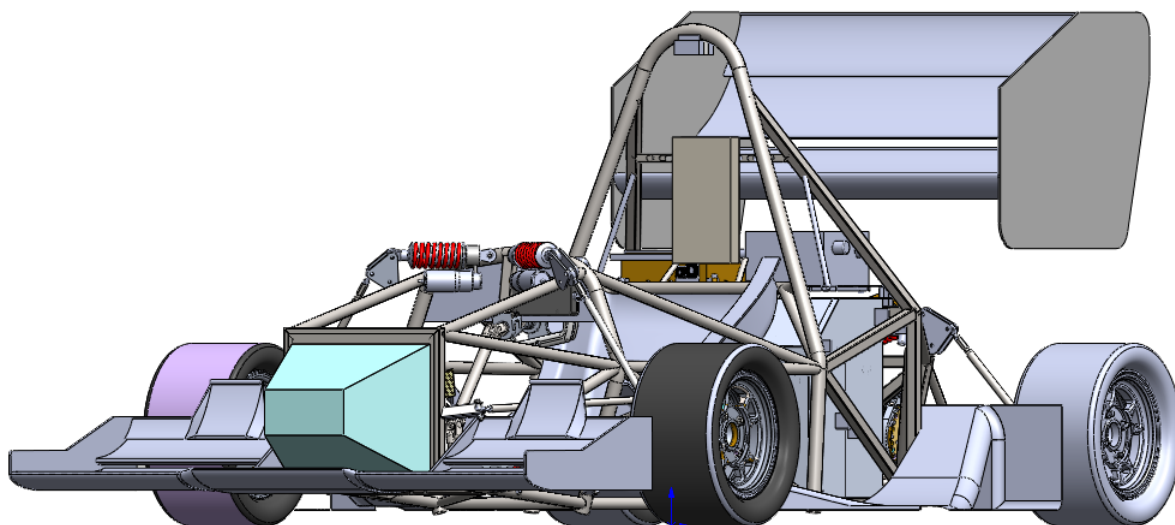
車両重量 **254kg**

ホイールベース **1700mm**

トレッド 1250mm

ホイール径 10in.7.5j

モーター YAMAHA  
50kWモーター

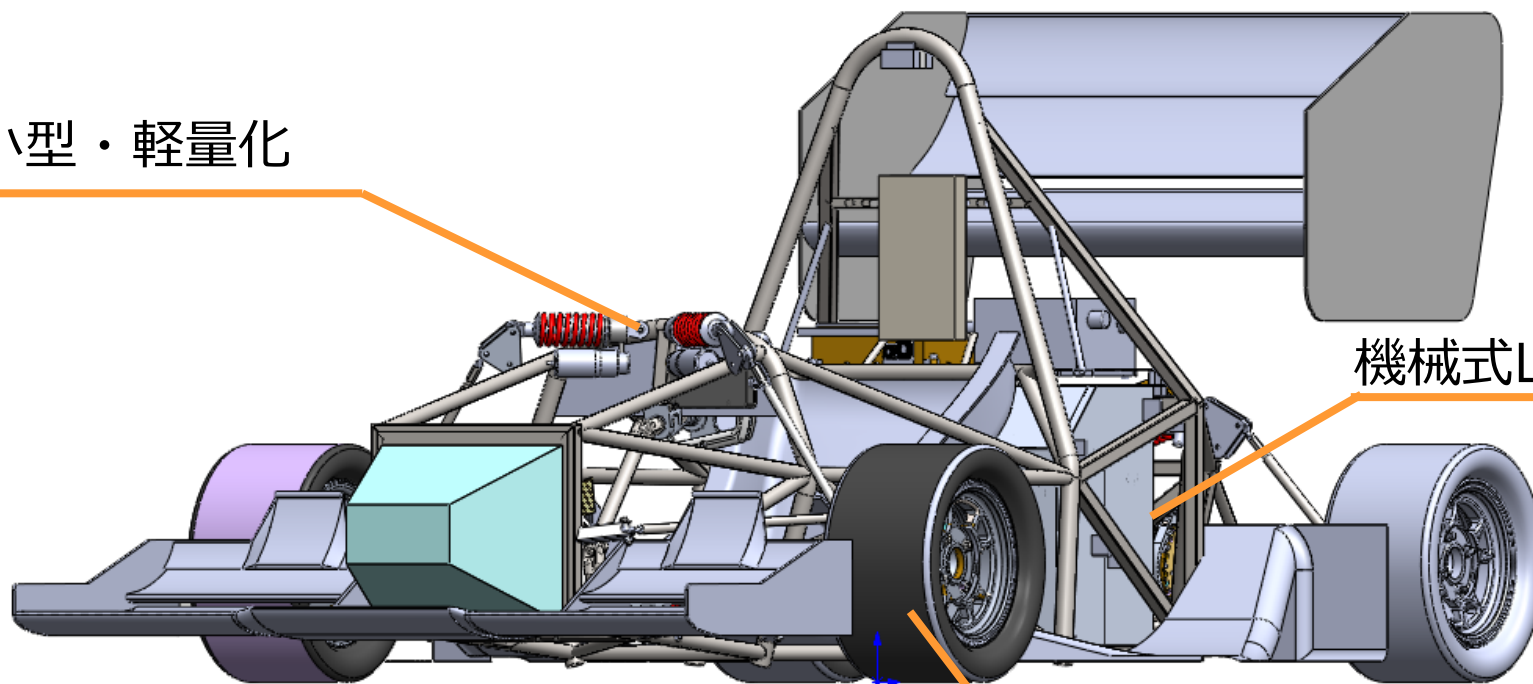


# TF-010eでの大きな改良点

小型・軽量化

機械式LSDの導入

7.5jホイール搭載





# 今後の予定

